



武蔵野

学校だより NO. 3
令和 6年 6月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 大河原 博



武蔵野小 HP

協働して見守ることで安心・安全な学校生活を

副校長 大森 雅之

6年生は、19日(日)から2泊で日光移動教室に行ってきました。日光の自然や歴史について、実際に見たり聞いたりして体験することで学びを深めました。また、宿泊を通してこれまで知らなかった友達の姿に触れ、友達との絆を深める三日間となりました。学んだことを今後の学校生活に生かし、学校の中心として活躍することを期待しています。

5年生は、29日(水)から1泊で清里移動教室に行ってきました。小学校生活初の宿泊学習で学んだことを高学年として日々の生活に生かしてほしいと思います。

さて、1学期も折り返し後半となりました。新しい学級になり2か月がたち、お子様は安心・安全に登校できているでしょうか。学校では担任を中心に、全教職員で児童の様子を丁寧に見てまいります。学校とご家庭とが違った立場からお子様の心身に焦点を当て、協働して見守ることが安心・安全につながります。気になることがありましたら、遠慮なく担任、学校までご連絡ください。

学校では、児童が安心して登校できるよう教育相談体制の充実を図り、次の取組を行っています。

- 1 「児童や保護者の方が相談しやすい環境を整え、相談できる大人を増やします。」担任だけでなく、学年主任、養護教諭、生活指導主任、管理職、お子様の悩みについて誰にでも気軽に相談できる体制を整えます。
- 2 「SOSの出し方に関する指導を実施します。」お子様が困ったときに、周りの大人に相談できるよう定期的に学ぶ場を設定します。
- 3 「スクールカウンセラーや相談できる外部機関を紹介します。」児童や保護者の方が悩みを相談できる機関を紹介し、連携して支援に当たります。
- 4 「年間3回「学校生活アンケート」を実施し、お子様の声に耳を傾けます。」声に出すことが苦手なお子様の悩みにも寄り添えるよう6月・11月・2月にアンケートを実施して支援の手掛かりにします。また、ご家庭と連携して支援に当たります。
- 5 「いじめや不登校に関する教職員研修を計画的に実施します。」研修を通して教職員の気づきを確かなものとし、支援のスキルを高めます。

6月はふれあい月間です。ご家庭でお子様とゆっくりと、向き合っていただき、会話する機会をつくっていただけたらと思います。何気ない会話を通して、親子の「心のふれあい」ができることを願っています。